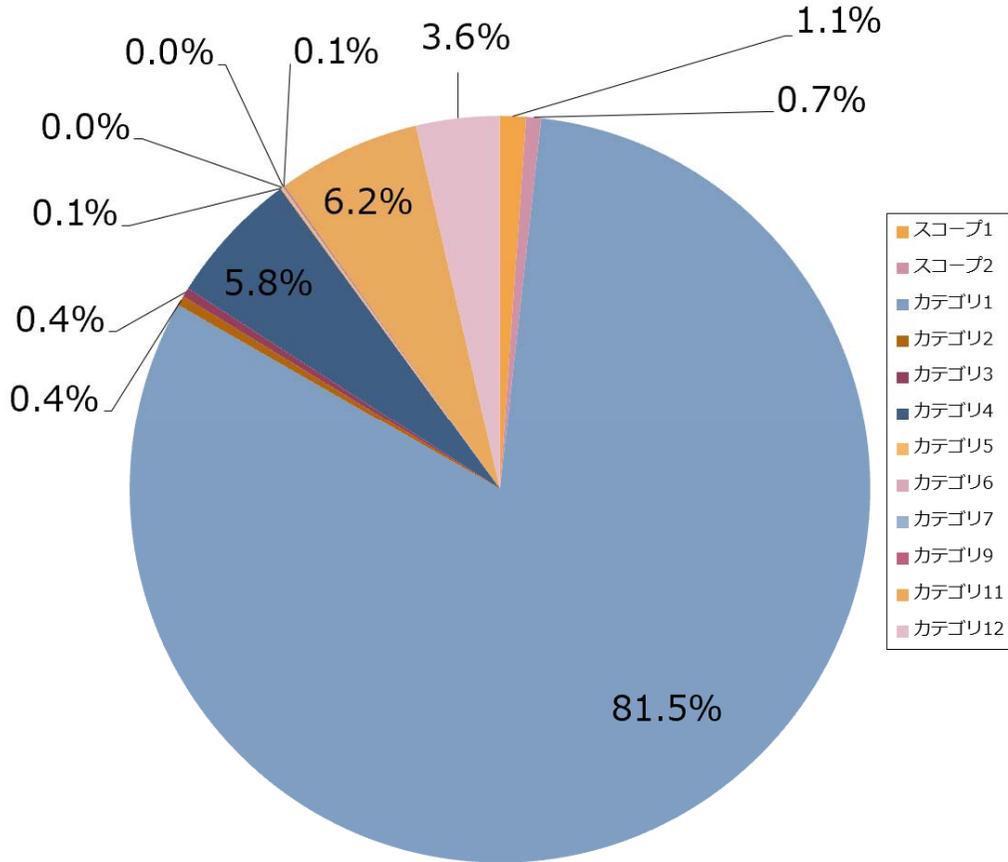


項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種：製造業（化学） ● 事業概要：洗浄・消毒剤の製造及び販売、油脂製品の販売 ● 事業規模：売上高9,344百万円（2019年度）、従業員数124名（2020年4月1日現在）
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>【目標】2030年に2019年比で27.5%削減</p> <p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備更新、導入に伴うエネルギー使用の効率化 ・太陽光パネル設置（PPA）による再生可能エネルギー利用検討 <p><再エネ100%の目標について></p> <p>【目標】2050年までに再エネ100%を達成</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>【目標】サプライヤー等との連携によりScope3カテゴリ1の削減に取り組む</p> <p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体像を把握、より精度を高め、削減ポイントを明確化する

セッツ株式会社

項目	内容																											
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 1,036[tCO2] 																										
	 <p>Detailed description of the pie chart: The chart displays the distribution of GHG emissions across 12 categories. The dominant category (Category 1) accounts for 81.5% of the total. Other significant categories include Category 2 (6.2%), Category 4 (5.8%), and Category 6 (3.6%). The remaining categories (3, 5, 7, 8, 9, 10, 11, 12) represent smaller percentages, with some being 0.0%.</p> <table border="1"> <caption>GHG Emissions by Category</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>スコープ1</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>スコープ2</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ1</td><td>81.5%</td></tr> <tr><td>カテゴリ2</td><td>6.2%</td></tr> <tr><td>カテゴリ3</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>カテゴリ4</td><td>5.8%</td></tr> <tr><td>カテゴリ5</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>カテゴリ6</td><td>3.6%</td></tr> <tr><td>カテゴリ7</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>カテゴリ9</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>カテゴリ11</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>カテゴリ12</td><td>1.1%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	スコープ1	0.0%	スコープ2	0.1%	カテゴリ1	81.5%	カテゴリ2	6.2%	カテゴリ3	0.0%	カテゴリ4	5.8%	カテゴリ5	0.1%	カテゴリ6	3.6%	カテゴリ7	0.0%	カテゴリ9	0.4%	カテゴリ11	0.4%	カテゴリ12	1.1%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 603[tCO2]
	Category	Percentage																										
スコープ1	0.0%																											
スコープ2	0.1%																											
カテゴリ1	81.5%																											
カテゴリ2	6.2%																											
カテゴリ3	0.0%																											
カテゴリ4	5.8%																											
カテゴリ5	0.1%																											
カテゴリ6	3.6%																											
カテゴリ7	0.0%																											
カテゴリ9	0.4%																											
カテゴリ11	0.4%																											
カテゴリ12	1.1%																											
	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 90,532[tCO2] 																											

項目	内容
<p>4.気候変動によるリスクと機会の分析</p>	<p><リスク></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資源、食料、健康、生態系への影響等が想定される。 ● 原料や資材の供給、コスト面等で、生産や調達が困難になる可能性がある。 <p><機会></p> <ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー利用の最適化が図られる。 ● 自社やサプライヤーの省エネ活動の促進や、再エネの導入によって、エネルギーコストの削減が実現できれば、生産や調達のコストの削減につながる可能性がある。 ● 積極的に自社が対策に取り組むことによる外部企業評価の向上が期待される。
<p>5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営における気候変動のリスクおよび機会を位置づけるため、中期温室効果ガス削減目標を設定。SBTのWB2℃目標の水準に整合する削減目標となっている。 ● 今回の取り組みで、自社のESG経営の一部として対外的にアピールすることで企業価値の向上に繋げたい。

セッツ株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 今回の支援を受けるにあたり、地球温暖化の現状、当社の環境パフォーマンス、温室効果ガス削減に向けた考え方等を経営層、関連部署へ説明した。● 支援事業者様のご指導のもと、担当者がSCOPEデータを算出した。● 算出結果をベースに、SBT WB2°C水準目標に合致する中期温室効果ガス削減目標を設定。経営会議において自社の中期環境目標の一つとして承認された。● 今後、自社ホームページ上で中期環境目標を公開予定である。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● 削減取り組みの実効性。● 温室効果ガス削減目標は、使用電力の再エネ化を推進しても達成は難しい。今後は他の手法、例えば新技術（NETs）等の利用も検討する必要がある。● Scope3カテゴリ1の削減目標の具体的な設定についての検討。